



一代記
大全

武徳鑑倉山記

三之巻

178
3

178
3



178
3

東京
武蔵
書

武德録倉田記卷之第三

目録

- ① 中將家大存跡小將志々重あつしやうけ ぶの しょうし ちぢぢしゅう并なほ京河一きやうが ひとの宮みや乃の換かへをを落おるる事こと
- ② 京河父子減色きやうが ちちこ へんしき附つ安房判官代隆重あはの はんぐん だい たくしゅう中ちゆう捕とるる事こと
- ③ 比企糟谷ひぎ ぞうや以下いげん 以下恩賞おんしょうと編とりりるる并なほ武田たけだ常重じやうしゅう附つ有義ありよし梶かぢ魚いそ一ひと味あじ乃の事こと

武德録卷之三

目録

四 波多野三郎盛通七郎則宗をいける

附 畠山次郎重忠勇力のみす

五 美壁紀内重通が忠義とけりける并生揚

一 芝原左衛門運倉小下美礼事

六 岡崎四郎義実入道慈訓并念佛禁

新礼事

武徳録倉田記第三之卷

一 中將家太在野よ物 信子系母一実の娘とある事
の事ハ正治二年三月十三日故太右衛門尉一因忠ハ
により。法花堂小抄のて。作らるるを候し。小桑屋以下。在
強念の面く。我もくと。誓素と。守師ハ業上房乃律師
榮あたり。又伊豆の國。朝成院院の小此方ハ。故太右衛門
いま。此の書信後とて。配あまかり。河の津亭の記
より。小桑屋を以て。河成院の抄法とて。弘圖と
建立し。孫傳乃三子。并に足助。地務未乃。其像と安室
や。海。そ。不伊豆。後河。武彦。相換。ホの。國。これ。院。み
抄のて。故太右衛門の。作喜。控。といふ。い。あ。と。る。お。ま。え

武徳録卷之三



後、然るに、まう。は、官と給りて、ま、官の、い、ま、あ、い、い、し、
 り、た、り、ぬ、ま、本、舎、ま、い、と、ま、列、の、一、族、あ、れ、つ、り、い、
 と、り、た、但、其、其、と、ま、び、け、り、ま、む、田、た、り、や、て、ゆ、ま、振、あ、
 と、れ、い、れ、く、ま、吾、氏、あ、り、ま、あ、り、け、ま、れ、り、日、み、日、た、
 其、射、ま、ま、と、ま、い、い、れ、ま、の、列、道、の、補、ま、り、ま、ま、わ、る、治、ま、
 甲、年、強、倉、本、朝、の、可、り、し、て、い、職、補、ま、り、ま、の、お、ま、ま、
 後、建、久、三、年、格、お、平、三、重、可、ま、り、ま、い、ま、い、ま、い、ま、い、ま、
 て、い、い、職、と、一、日、ま、り、ま、あ、り、ま、い、ま、い、ま、い、ま、い、ま、い、ま、
 ぬ、一、ま、ま、ま、り、ま、い、ま、ま、い、ま、い、ま、い、ま、い、ま、い、ま、
 不、乃、列、道、と、あ、り、ま、い、ま、い、ま、い、ま、い、ま、い、ま、い、ま、
 と、ぬ、く、好、係、と、ま、い、ま、い、ま、い、ま、い、ま、い、ま、い、ま、い、ま、

先、此、の、及、び、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、
 う、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、

又、其、強、倉、内、の、強、通、が、是、貴、と、い、ゆ、り、ま、い、ま、い、ま、い、ま、い、ま、

強倉以下之事

日、六、日、由、あ、ま、か、り、て、後、本、七、命、別、ま、が、罷、科、の、り、ま、い、に、波、ま、
 形、三、命、強、通、が、則、ま、と、ま、捕、り、勤、功、の、貴、れ、り、ま、い、ま、い、ま、い、
 い、あ、り、ま、い、ま、い、ま、い、ま、い、ま、い、ま、い、ま、い、ま、い、ま、い、
 氏、分、重、納、ま、ま、これ、を、あ、り、ま、い、ま、い、ま、い、ま、い、ま、い、ま、
 日、は、強、通、ま、ま、い、ま、い、ま、い、ま、い、ま、い、ま、い、ま、い、ま、
 一、命、ま、い、ま、い、ま、い、ま、い、ま、い、ま、い、ま、い、ま、い、ま、い、
 う、ま、い、ま、い、ま、い、ま、い、ま、い、ま、い、ま、い、ま、い、ま、い、

形が初はけりし下は去いりて。その中意はして留らるる。
 其の對交さるるの。其のまゝに留るる。けりて。
 其のまゝに留るる。其のまゝに留るる。
 其のまゝに留るる。其のまゝに留るる。
 其のまゝに留るる。其のまゝに留るる。
 其のまゝに留るる。其のまゝに留るる。
 其のまゝに留るる。其のまゝに留るる。
 其のまゝに留るる。其のまゝに留るる。
 其のまゝに留るる。其のまゝに留るる。
 其のまゝに留るる。其のまゝに留るる。

をばりて。人とおる。其のまゝに留るる。
 其のまゝに留るる。其のまゝに留るる。
 其のまゝに留るる。其のまゝに留るる。
 其のまゝに留るる。其のまゝに留るる。
 其のまゝに留るる。其のまゝに留るる。
 其のまゝに留るる。其のまゝに留るる。
 其のまゝに留るる。其のまゝに留るる。
 其のまゝに留るる。其のまゝに留るる。
 其のまゝに留るる。其のまゝに留るる。
 其のまゝに留るる。其のまゝに留るる。

じつしび交機系が滅亡するを是の事なり。なほ一とせむるも
 くりしにせむるを是の機を以て城とす。しに悪事とせむるも
 ちせむるを是とす。たまたま一のまにふげも速中なり。
 あやしの心おれぬめい。又子悪く徒せられる。目比の廣きも
 どのとりのまをす。げ中も京府不意の害あり。事ら
 弱りゆりし。多き。俄のゆいてし。城とあり。機を以て針
 策とせむるも。すま。機を以て。さぐ。む。難治。らん。かく。事ら
 安よ。安者。ち。あ。ま。た。ら。あ。と。一。と。せ。む。る。の。ゆ。あ。り。て。さ。難。れ。又。是
 指。藉。よ。乃。び。一。何。せ。捕。一。共。如。が。げ。何。げ。た。よ。有。て。び。も。と。は。く。く
 と。又。富。ら。ま。ハ。取。飲。多。く。お。ま。い。一。程。も。そ。只。大。分。け。く。ひ。ち。り。
 俄。は。機。部。と。せ。む。る。機。を。以。て。さ。む。る。も。あ。ら。う。と。や。そ。ん。と。せ。む。る。も。あ。ら。う。と。

こから。機の上より引けて。火と敵ら。焼。落。さん。は。何の子。ゆ。ら
 び。ま。と。つ。河。ぬ。み。平。次。と。京。府。常。事。考。す。と。か。い。や。く。事。府。と。
 この。と。悪。弱。ち。り。と。い。の。あ。い。と。小。山。左。の。全。身。を。治。め。る。事。ら
 一。小。い。家。の。武。勇。我。は。げ。く。考。の。じ。と。事。比。自。勝。せ。れ。つ。ら。
 廣。言。ふ。い。似。し。似。ど。今。身。の。あ。え。の。も。い。よ。う。て。後。人。連。累。一。と。機。一
 一。あ。よ。事。内。の。機。威。は。お。れ。ひ。り。刺。殺。と。か。ら。建。ご。り。事。ら。
 機。病。を。機。の。ち。り。も。い。何。も。の。い。じ。と。も。一。け。り。ひ。く。の。と。く。
 難。徒。救。救。一。乃。ん。で。皆。く。退。か。し。る。と。り。の。あ。よ。先。日。京
 府。一。役。さ。く。と。て。機。の。が。た。れ。ら。安。事。速。急。と。親。長。と。り。ま。の。あ。ら
 機。退。補。役。芝。原。を。命。長。保。と。あ。い。く。て。何。日。種。舎。の。治。事。と。
 事。教。と。も。復。し。と。は。し。何。未。だ。の。耐。度。深。而。未。だ。と。多。く。お。流。

○六 徳信の命を實入道慈海并念仏持齋事

實入道慈海并念仏持齋事。慈海の地へ放たる政教新朝長の時迄之
 ころより。その意を頼むる。若し實入道慈海。入道より
 此の事など。立金一市。ゆる成。尼市。是の市。取とて。け地。此
 他。置て。建立し。集上坊。持師。業。あ。奇附せしめ。た。る。政。及
 の。由。喜。程。と。さ。う。つ。れ。ん。の。め。日。望。二。月。十。三。日。慈。海。は。後。法。師
 の。い。賞。作。の。さ。げ。め。さ。ま。ま。立。成。慈。海。あ。く。の。能。全。を。攝。
 さ。ぬ。く。答。意。つ。て。け。り。日。三。月。十。日。慈。海。の。命。を。實。入。道。
 慈。海。の。杖。よ。り。と。あ。が。り。尼。市。是。の。市。取。と。さ。う。つ。れ。た。ま。は。に。
 よ。り。い。八。旬。は。好。り。し。と。い。ふ。海。の。故。と。て。見。後。よ。あ。が。れ。り
 を。り。り。痛。と。う。れ。へ。の。計。念。の。り。慈。海。今。い。け。ゆ。べ。を。も。り。

慈海。頼むるに。方とあり。の。由。の。計。文。困。窮。よ。せ。ま。り。生。涯。より。亦
 たり。い。由。是。賞。して。あり。し。市。取。と。う。ふ。い。ひ。う。た。是。是。依
 奈。回。と。一。名。た。る。務。の。の。合。我。の。所。計。死。け。り。い。ひ。う。た。い。が。が
 之。を。吊。り。ん。と。あ。ち。後。よ。わ。ど。し。い。ひ。て。今。ま。う。う。ふ。慈。海。の。由。
 計。と。ま。る。け。と。と。あ。む。が。合。の。け。て。日。紙。あ。り。い。と。さ。れ。い。
 ろ。て。子。孫。安。堵。の。り。り。と。ふ。い。い。と。こ。こ。は。極。京。の。務。り
 よ。り。て。慈。海。の。地。と。あ。り。い。ひ。今。ま。の。困。窮。の。身。と。あ
 て。い。と。て。さ。あ。ぐ。と。後。た。れ。い。尼。市。是。の。市。取。と。し。せ。づ。を。あ。い。後
 り。由。身。の。故。取。無。乃。ら。初。の。好。く。も。と。な。れ。あ。を。い。づ。と。法
 事。の。名。務。の。合。我。の。計。文。大。切。と。い。げ。と。れ。い。今。ま。の。困。窮。よ。り。よ
 くと。も。る。ん。と。慈。海。せ。ま。り。や。と。て。早。く。市。取。一。市。と。入。た。い。あ。て



約つる。と。白尾の光と申は。とて。中ね家の四方。つら。せ。め。ひ
り。その。世。ま。の。法。院。の。名。号。と。候。も。男。女。の。別。に。よ。り。ん。
念。仏。を。修。て。果。と。行。の。り。より。中。ね。家。の。年。あ。く。持。来。と。ね。
さ。め。う。つ。さ。れ。せ。め。ひ。て。大。念。仏。を。い。ん。ま。う。つ。せ。め。ひ。の。あ。ま。う。り。
念。仏。持。修。の。名。と。候。ま。され。何。れ。の。也。よ。念。仏。と。い。は。候。は。候。
を。い。て。か。ま。ま。と。う。れ。れ。悉。く。焼。捨。下。と。い。念。仏。を。あ。り。候。
候。も。法。院。を。修。り。月。又。月。の。陰。載。件。候。の。色。に。行。
向。ひ。種。念。中。に。あ。る。所。の。念。仏。乃。信。徒。と。い。う。の。か。ま。ま。と。別。れ。
て。月。毎。よ。と。焼。捨。下。ん。物。の。も。砂。市。と。い。う。ま。け。じ。を。い。
候。と。い。う。が。い。て。そ。の。か。ま。ま。と。い。う。ま。け。じ。を。い。候。と。い。う。り。候。
候。と。い。う。候。の。か。ま。ま。と。い。う。り。候。候。念。房。と。い。う。り。乃。念。望。園。の。候。

中。と。い。は。上。念。房。と。い。う。人。か。ま。ま。と。い。う。り。大。市。に。入。れ。て
や。ん。と。守。秘。念。と。い。は。候。し。それ。信。乃。念。房。と。候。の。か。ま。ま。と。い。は
其。一。律。に。て。天。竺。震。旦。昔。日。本。古。より。今。に。あ。る。と。申。の。也。
と。い。は。あ。る。候。今。あ。り。し。も。禁。部。の。あ。り。候。も。う。や。候。は。念。仏。と
い。は。念。仏。の。大。院。に。十。方。薩。摩。乃。信。解。脱。門。に。在。り。と。申。候。
候。候。又。持。来。せん。り。ば。名。号。に。あ。り。候。と。候。を。い。て。う。ま。ん。や。
され。は。信。念。擁。護。の。か。ま。ま。と。い。う。り。の。也。若。し。も。信。念。の。也。候。と
あ。ま。ね。と。い。は。候。也。れ。候。候。い。づ。も。う。と。推。し。入。り。又。は。念。房。と
い。は。候。也。別。解。脱。幢。の。標。幟。と。い。は。候。上。福。田。の。妙。相。と。い。は。候。念。仏。向
乃。乃。場。あ。り。て。梵。天。帝。釈。り。降。教。り。あ。り。候。の。衣服。と。い。は。候。て。
甲。兵。王。八。大。龍。王。と。い。は。候。を。あ。り。候。と。い。う。り。候。候。念。望。園。の。候。

西暦一千七百三十四年

三月

